

隠岐国 海士町の『島まるごと人づくり』

今の学校や塾の教育スタイルには限界があるのではないかと。学力に加え社会で活躍するための本当の力を伸ばす指導とは何か。限られたリソースで、生徒一人ひとりを伸ばす、そんな指導を実現するには。最も条件不利地といわれる離島で、こうした課題に真正面から取り組む海士町の先進事例を紹介していただきます。学校と塾と地域の協働による新たな教育モデルから今後の日本の教育のヒントを学びたいと思います。

<概要>

「地域の教育格差の打破」「学力だけでなく社会人基礎力やモチベーションを連動させる教育」「地域を元気にするキャリア教育」「一人ひとりの得意な学習スタイルや学力にあわせた教育」「学校と塾と地域の連携協働」といったキーワードに興味ある教育関係者等が集い、海士町の隠岐国学習センターと高校魅力化プロジェクトの取り組み事例をもとに、意見交換とネットワーキングができれば幸いです。

<対象者>

- 上記のキーワードに興味を感じる人
- 既存の高校、塾のやり方に限界を感じている人
- 今後塾や教育関係で独立を考えている人
- 地方や田舎で教師、塾、教育事業をやりたいと考えている人
- 離島や僻地、過疎地域と都市部の教育格差に問題意識がある人
- 学力だけでなくモチベーション、社会人基礎力も高める手法に興味のある人
- 大学進学その先を見据えたキャリア教育をできないかと考えている人

日時: 2011年11月13日(日) 14:00~17:00 [受付開始:13:30]

会場: TKP東京丸の内会議室 3階カンファレンスルーム3 <地図> <http://tkpteigeki.net/>

主催: 日本教育大学院大学 共催: (株)栄光 / (株)エデュケーショナルネットワーク

協力: 島根県隠岐国 海士町

■プログラム

- ◎14:00-15:00 海士町/島まるごと人づくり 岩本 悠
- ◎15:10-16:20 学校・塾・地域の協働モデル 豊田庄吾、藤岡慎二、岩本 悠
(島前高校魅力化プロジェクト・高校連携型公営塾)
- ◎16:30-17:00 総括&リフレクション

※上記時間は進行上、前後することがあります。予めご了承下さい。

■講演者

○豊田庄吾 (隠岐国学習センター センター長)

大手総合情報メディア企業を経て、人材育成会社(株)ウィル・シードにて学校教育部門を担当。

社会人基礎力や生きる力、起業家精神に関する特別授業を7000人の生徒に実施。人間力の育成などで大手企業の研修も行う。現在は海士町に移住し、学校連携型公営塾のセンター長を務める一方、高校の外部講師としてキャリア教育・学習意欲向上などの授業も行う。

○岩本 悠 (高校魅力化プロデューサー)

学生時代に一年間アジア・アフリカ20カ国の地域開発の現場を巡る。帰国後、その体験記『流学日記』を出版。またその印税を使いアフガニスタンに学校をつくる。

幼稚園、小、中、高校の教員免許を取得し卒業後、ソニーで人材育成・組織開発・社会貢献事業に携わる傍ら、途上国の教育支援や開発教育、キャリア教育の取り組みを推進。2006年、日本海の島 海士町に移住。島の高校を中心に新しい地域教育と学校のモデルづくりに取り組む。

○藤岡慎二 (隠岐国学習センター 教育ディレクター)

慶應義塾大学修士課程修了。自己発見のキャリア教育・社会人基礎力・学習意欲向上、推薦AO入試を専門に、大手予備校やハーバード大学進学塾「Route H」などで小学生から社会人まで14年の指導歴を持つ。ベネッセコーポレーションの新商品開発のアドバイザーも務め現在は島前に移住し、学校連携型公営塾で指導を行う一方、高校の外部講師として、地域起業家育成などの授業も行う。大学でも社会人基礎力を中心に初年次教育から関わっている。



■ 隠岐國 海士町とは

日本海の島根半島沖合約60Kmに浮かぶ隠岐諸島の中の一つ中ノ島を「海士町」といい1島1町の小さな島(面積33.51km²、周囲89.1km)。後鳥羽上皇がご配流された地としても有名で神楽や民謡、俳句などの歴史文化を誇る一方、島すべてが国立公園に指定されるほどの自然豊かな島。近年は人口流出と財政破綻の危機の中、独自の行政改革や産業創出、人づくり、教育施策を推進。(地域づくり総務大臣表彰の大賞第一号を受賞)

人口約2400人の島に、この5年間で250人以上が移住し、地域活性の先進地として、全国の自治体や研究機関、海外からも視察が来るようになっている。

(海士町公式ウェブサイト<http://www.town.ama.shimane.jp/index.html>)

■ 高校魅力化プロジェクトとは

少子化で存続の危機にあった島唯一の高校(隠岐島前高校・全校生徒約100人)を、人づくりのレバレッジポイントとして魅力化する地域と学校の協働プロジェクト。島の豊富な資源や人材を活用し、次世代の地域起業家の育成を目指す「地域創造コース」や、地域学校連携型公立塾の創設、全国から意欲と能力ある脱藩生を募集する「島留学」、一人ひとりの夢の実現を目指す独自のキャリア教育や少人数指導などを展開。地域観光プランコンテストでの日本一(文部科学大臣賞)受賞をはじめ、部活動の活躍や進学実績の向上などにより、島外からも多彩な生徒が集まるようになる。来年度からは少子高齢化の過疎地では異例の学級増も決定。

* 10月18日発売のプレジデントFamily12月号に島留学の取り組みが特集されています。



■ 隠岐國学習センターとは

隠岐國学習センターは公営塾として2010年6月に設立されました。都会と僻地の教育格差は広がる一方であると一般的に言われており、進学塾や予備校、家庭教師といったものが乏しい離島においては、「島で子どもを育てると、(学力が伸びず)大学進学に不利」という「常識」が根深くあります。そのため、大学進学を希望するほとんどの生徒は、中学を卒業した時点で、島を離れ本土の高校へと出て行くのがこれまでの実態でした。

離島地域の教育における課題を克服し、「高校卒業までは島の子どもは島で育てる」という信念のもと、「離島では進学に不利」「勉強したいなら本土へ出るしかない」という従来の「常識」に挑戦する中核となるのが隠岐國学習センターです。離島・過疎地域が抱える都市部との教育格差を解消し、地域の子どもたちの自己実現を地域総がかりで支援する新しいモデルづくりを目指します。

■ お申込方法

お申込先: **日本教育大学院大学公式ホームページ**
(<http://www.kyoiku-u.jp>) よりお申込下さい。

参加費用: **無料**

お申込締切日: 2011年11月11日(金)

定員: 70名 * 定員になり次第、受付終了となります。

お問合せ: 日本教育大学大学院事務局
〒102-0084 東京都千代田区二番町8-2
TEL 03-3237-1811 担当: 大槻・島野

